

1 家庭学習について

- ・家庭学習（本読み・書き取り・計算ドリル）
- ・本読みカード…形式は実態に合わせて学年に任せる。
台紙かファイルに綴ることにして、子供向けの家庭学習の手引きを貼る。
- ・書き取り…手本は3年生まで、4年生からは自分でやれるようにする。
前日にふりがなを書いておき、当日漢字を書く。
丸付け、直しは1～3年は家の人と。（3年後半は、徐々に自分で）4年からは自分で。
- ・計算ドリル…丸付け、直しは1・2年生は家の人と。3年からは自分で。
- ・保護者に求めることは、1・2年（3年）の宿題の丸付け、家庭学習の手引きの「おうちの方へ（資料1）」に書かれていること。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
書き取り 手本	あり			なし		
丸付け	家の人と（3年後半は自分で）			自分で		
計算ドリル丸付け・直し	家の人と		自分で			

資料1

おうちの方へ

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を実行して、生活リズムを整えることが大切です。
- 学習する時間について親子で話し合しましょう。
 - テレビやゲームを切り、静かな環境をつくりましょう。
 - テレビやゲームについて話し合い、約束をきめましょう。
 - 自分で時間割等をそろえられるように声かけをお願いします。
 - 身の周りの出来事について、話題にするといいです。
 - 学習の様子を見取り、言葉掛けや見届けをお願いします。

2 家庭学習の手引きについて

- ・昨年度の物は、保護者用
- ・本読みカードには、「さあ、始めよう（資料2）」「これができるようになろう（資料3）」を貼る。
- ・自主勉強のことは、自主勉ノートに貼る。

資料2 さあ、始めよう！→

- 1、学校からの手紙や連絡を、家の人に見せよう。
- 2、テレビやゲーム、音楽などを消そう。
- 3、つくえの上をきれいにして、学習用具をそろえよう。
- 4、予定を見て、まず宿題を始めよう。
- 5、宿題が終わったら、自主学習をがんばろう。
- 6、最後まで集中してがんばろう。
- 7、学習が終わったら、明日の学校の準備をしよう。
- 8、読書をしよう。

資料3 これができるようになろう(低学年)

- えんぴつの正しいもちかたができる。
- こくごのきょうかしょが すらすらよめる。
- ひらがな、かたかなのよみかきが 正しくできる。
- かんじのよみかきが 正しくできる。
- しゅご、じゅつごがわかる。
- たしざん、ひきざんや かけざんが 正しくできる。
- とけいが正しくよめる。
- じょうぎやはさみを上手につかえる。
- きもちを入れてにつきやさくぶんが書ける。
- 生きもののようすをしっかりとかんさつできる。

(中学年)

- はっきりした声で音読する習慣をつける。
- ローマ字を読み書きできる。
- 学習した漢字の読み書きができる。
- とめ、はね、はらいに気をつけて、ていねいに書ける。
- 詩やことわざをあんしょうできる。
- 国語・漢字辞典が使える。
- 筆算の方法をおぼえ、正しく計算できる。
- 三角じょうぎ、コンパス、分度器を正しく使うことができる。
- はかりのめもりを正しくよめる。
- 地図記号(3年)、県名と位置(4年)を覚える。

- はっきりした声で音読する習慣をつける。
- 文章を正確に読んだり、気持ちをこめて読んだりできる。
- ローマ字を読み書きできる。
- 漢字辞典や国語辞典を活用できる。
- 日記や手紙、感想文等を目的に合わせて書ける。
- 小数、分数の計算が正しくできる。
- 解答を導き出すための筋道を説明できる。
- 日本や世界の国に目を向け、その地域や国の特徴を知る。
- 自然の事象に興味を持って調べようとする。
- 敬語を使って会話ができる。
- 新聞を読んだりニュースを見たりする習慣が身に付いている。